

## タイ国元首相（タクシン・チナワット氏）の日本講演と今後の賃金動向

8月23日（火）、東京にある学士会館で、第31代タイ国首相（元首相）であるタクシン・チナワット氏の講演があり、会場は250名の定員でしたが、満席状態でした。

同氏の今回の訪日目的は、東北被災地への復興支援のためであり、東北地方の被災地訪問や宮城県知事との対談などの過密スケジュールの中、東京での講演も組み込まれおり、我々、タイの現状を知りたい企業にとっては、非常に貴重な講演になりました。



タクシン氏は、2001年2月から2006年9月までタイで首相を務めました。首相時代には、それまでの政治家と一線を画する政策をとり、経済政策も大胆に行った実績があります。

7月に行われたタイの下院選挙の結果、タイ貢献党の勝利によりタクシン氏の末の妹であるインラック・シナワトラ氏が女性初の第36代首相として指名されています。そのため、現在、タイに入国できない状態のタクシン氏に関連し、インラック首相の選挙での公約などがタクシン氏の思惑と重複する部分もあるというようなことも言われています。

現在、タイの日系企業は7,000社を超えています。これは、マレーシアやインドネシアへの進出状況の5倍近くの数字であり、東南アジア地域では断トツの進出状況です。この背景には、国内インフラがある程度整っていることや、政府主導による輸出奨励など事業を行いやすい環境が整っていることが考えられ、また、熟練労働者の確保や親日的な文化背景などを進出理由としている企業も多いと思われます。円高や震災の影響などもあり、これから来年にかけてもタイへの進出が加速する可能性が大いにあります。

しかし、今回の選挙公約の一つである最低賃金の一律引き上げ（来年1月1日から）という政府の方針に対して各方面から反対の意見が出てきています。最低賃金を現在の賃金から全国一律1日あたり300バーツ（日本円で約840円）に上げることが原因です。

2011年1月1日現在、タイの首都バンコクの最低賃金は215バーツ（602円）であり、最低賃金が一番低い県では159バーツ（445円）となっています。

最低賃金額の推移（単位：バーツ/日）（出所：タイ労働省）

年月	バンコク首都圏	工業県（バンコク近隣）	その他全県
2005年1月	175	144～173	137～142
2005年8月	181	150～178	139～148
2006年1月	184	153～181	140～151
2007年1月	191	160～186	143～156
2008年1月	194	159～193	144～158
2008年6月	203	165～197	148～164
2010年1月	205～206	169～204	151～168
2011年1月	215	183～221	171～182

多くの日系の製造業関連企業が既に進出している中で、人件費の急激な上昇は、経営の面から考えると大きな負担になり、それ以外にも、国際競争力の低下、近隣国からの労働者の流入といった事態も考えられる可能性が高くなると思われま

また、国際的な競争という点からアジア地域の賃金を比較すると、タイの賃金は中国の上海や北京などよりも安いのが現状ですが、この一律引き上げが実現すれば北京と同様の水準に達してしまい、タイに進出する魅力の一つである人件費の部分で進出に慎重にならざるを得なくなることも考えられます。

全国一律で賃上げが実施された場合には、現在の賃金との比率で 35-85%の上昇になり、タイ工業連盟などからは、これだけ急激な引き上げが現実となれば多くの中小企業が倒産の危機に直面する可能性が高く、仮に実施するとしても、数年間の時間をかけて実施すべきだとのコメントも出ています。

しかし、賃金の上昇によってタイ人労働者の所得が増えるため、経済の活性化が起これ、国内景気の刺激になることも考えられます。日本の歴史を見ても、高度成長期を経て現在の状況になったのと同じように、タイでもいつまでも比較的安い賃金で雇用ができるはずもなく、賃金の上昇もタイの生活水準を向上させることなどにより先進国への仲間入りを加速させるきっかけになっていくものと考えられます。

## 【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】: 東京都千代田区神田淡路町 2-6 益川ビル 6 階

【担当者】: 志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】: 138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak  
Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】: 福田 淳 (ふくだ じゅん)

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課(086-226-7365)へご相談ください。